

臨床看護実践能力指標（クリニカルラダー）別教育計画

		必須研修					役割研修	
到達レベル		ステップⅠ（卒後1・2年）	ステップⅡ（ステップⅠ修了者）	ステップⅢ（ステップⅡ修了者）	ステップⅣ（主任）（ステップⅢ修了者）	ジェネラリスト	助手・クラーク	師長
定義		指導を受けながら看護が実践できる	受持ち看護師として、自立して看護が実践できる	役割モデルが果たせる	総合的な判断ができ、問題解決能力を理解できる	看護師の指示を受け看護実践ができる	看護助手・クラーク業務を理解し、必要な知識・技術を習得、看護チームの一員としての役割を發揮できる	
達成目標		1 公務員、病院職員、看護職員としての責務について理解できる。 2 病院組織、医療チームの一員としての基本的態度を身につける。 3 正確な知識・技術・態度を身につけ、指導・助言を受けながら患者に安全な基本的ケアを行い、記録することができる。 4 患者・家族及び職員とコミュニケーションをとることができる。 5 経験を通し自己の看護観をまとめることができる。	1 医療チームの一員としての役割を理解し、活動ができる。 2 当病院内の看護方式について理解し、受持ち看護師としての役割を果たすことができる。 3 根拠に基づいた看護を実践し、後輩に指導・助言ができる。 4 看護過程が理解でき、記録することができる。 5 研究の学びと実践を通して看護の知識を深めることができる。	1 看護の専門性を高めリーダーとしての役割・業務ができる。 2 医療チームの一員としてリーダーシップを發揮することができる。 3 同僚や学生に対し適切な指導や調整ができる。 4 キャリアアップの必要性を理解し、自己研鑽ができる。 5 主体的に研究に取り組み、研究能力を高めることができる。	1 看護実践において専門的な知識を用い総合的な判断ができる。 2 看護師長を補佐し、病院・看護部の目標達成に向け活動を推進できる。 3 看護管理者の視点で物事を判断することができる。 4 専門領域を目指すことができる。 5 看護研究の指導をすることができる。	1 根拠を理解し看護実践を行う。 2 専門職業人としての自己研鑽ができる。	1 看護助手・クラークとして基本的な知識・技術および日常業務について習得できる。 2 看護チームの一員としての心構えと態度を身につけ、業務に取り組み始める。 3 職業人としての意欲の向上が図れる。 4 常に安全を意識して行動できる。	教育委員として各担当項目の教育計画を立案、実践し評価を行う
看護実践能力	成果責任	1 看護の基礎知識・技術・態度を身につけて、支援を受けながら安全・確実にベッドサイドケアができる。 2 情報収集ができ、患者の問題を捉え指導・助言を受けながら解決に向け実践し、記録ができる。 3 緊急時は指示を理解し、行動に移せる。	1 看護過程が展開でき、計画に基づいた看護が実践できる。 2 看護に関する一連の記録ができる。 3 カンファレンスに参加し、受持ち患者の看護計画に責任を持つことができる。 4 自部署の専門知識・助言を確実に習得できる。 5 指導・助言を受けながら緊急時の対応に取り組むことができる。	1 アセスメント能力を高め、質の高い看護が提供できる。 2 看護計画の評価・修正を的確に行い監査できる。 3 院内における緊急事態に、迅速に対応することができる。	1 看護の専門領域を深め、幅広い視野で状況判断し対応できる。 2 あらゆる看護場面で問題解決能力を發揮し、実践できる。 3 院内における緊急事態に、リーダーシップを發揮できる。			
	教育計画	看護技術はチェックリストを使用。 与薬の技術・静脈内注射、点滴静脈内注射のビデオ学習。輸液ポンプの準備と管理。インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察。麻薬の主作用・副作用の観察。特殊薬剤の管理。 呼吸・循環を整える技術 肺理学療法、人工呼吸器の管理。 救命救急処置技術 心電図のモニター・12 誘導心電図の装着、管理。ビデオ学習、救急処置 ABC。 看護協会 フィジカルアセスメント 緊急時におけるアセスメントと看護	各部署内現場研修 ケアプロセスの活用。 糖尿病シリーズ①	院内防災訓練、エレベーター救出訓練。 看護協会 災害看護 合同防災訓練への参加。 糖尿病シリーズ②	院内交換研修 糖尿病シリーズ③	看護部教育計画、研修への参加。 伝達講習への参加。看護協会研修参加報告。 看護協会 准看護師研修会。	看護助手 移動・移乗研修。 生活援助技術 (食事・排泄・移動介助) 診療材料器具などの取り扱い ヘルパー教育(2級過程)。 クラーク 書類の取り扱い。 レントゲンの取り扱い。	目標管理 人材育成 研修。 面接技法 コーチング技術 アサーティブコミュニケーション 看護協会 セカンドレベル研修 継続教育
看護記録	看護過程	1 基本的な看護過程の展開ができる。 2 患者の問題点から、必要とされる指導ポイントを見出すことができる。 3 指導、助言をうけながら、患者に必要な看護の実践ができる。 4 受け持ち看護師としての役割を理解し、看護方針、計画立案、実施、評価の一連の看護過程の展開ができる。	1 複雑な健康上の問題をもった患者の看護過程を展開できる。 2 患者の心理的、社会的背景について着目し、在宅支援の知識を深めつつ看護できる。 3 看護理論を理解し、文章に表す事ができる。 4 看護記録を正しく書き、後輩を指導ができる。	1 各部署の看護の専門性を深めることができる。 2 看護過程の評価ができ、後輩指導ができる。 3 看護記録のあり方に対する知識を深め、監査できる。	1 看護理論を活用して看護過程の指導ができる。			
	安全対策	1 基本的技術の原理・原則を身につける。 ① 5R、3度の確認、ダブルチェックの重要性を理解する。 ② 一般的な治療・ケアの知識を身につけ、行われる治療・ケアと患者の結びつけができる。 2 ヒヤリ・ハット体験報告用紙の記載が5W1Hに基づきできる。	1 プリセプターとして基本的技術と態度の役割モデルができる。 2 事例の分析方法を身につける。 3 分析された内容の対応策について意見を出し実施できる。	1 日常業務中のリスクについて洗い出しができる。 2 洗い出したリスクを整理し対応策を実施できる。 3 リスクの対応策がチーム内に浸透する為の役割が担える。	1 リスクに応じた対応策を立てることができる。チームに浸透するための方策を立案することができる。 2 看護活動と関連法規を理解し、チームメンバーに意識付けでき、危険に関する教育・指導ができる。 3 事故防止のために自らが役割モデルとなることができる。			
リスクマネジメント	感染対策	1 スタンダードプリコーション（標準予防策）を理解し、実施できる。 2 PPE の着脱が手順通り行える。 3 環境整備が実施できる。 4 感染経路別予防策を理解できる。 5 院内消毒法を理解し、正しく実施できる。 6 看護ケアに合った感染防止ができる。 (身体の清潔・手術部位の清潔・血管内カテーテル留置・尿路カテーテル留置・人口呼吸器装着など) 7 針刺し事故について理解し、正しい取扱い・報告ができる。	1 監査項目を正しく実施できる。 2 感染症看護を理解し、実践できる。 (急性胃腸炎・インフルエンザ)	1 監査項目を指導できる。 2 感染について現場での指導・情報提供ができる。 (結核・疥癬・HIV)	1 感染対策委員会の活動を理解し、支援できる。	1 スタンダードプリコーション（標準予防策）を理解し、実施できる。 2 PPE の着脱が手順通り行える。 3 環境整備が実施できる。 4 感染経路別予防策を理解できる。 5 院内消毒法を理解し、正しく実施できる。	1 スタンダードプリコーション（標準予防策）を理解し、実施できる。 2 PPE の着脱が手順通り行える。 3 環境整備が実施できる。 4 感染経路別予防策を理解できる。 5 院内消毒法を理解し、正しく実施できる。	1 感染管理上、患者及び職員の安全な環境を維持できる

褥瘡対策	成 果 責 任	1.褥瘡予防について指導を受けながら実践できる ①正常な皮膚と皮膚障害の違いがわかる ②皮膚をとりまく環境について観察ができる ③指導を受けながらアセスメント・実践・評価できる ④適切なマット選択ができる ⑤褥瘡発生要因をアセスメントできる 皮膚の基礎知識 基本的なスキンケア(洗浄・保護・保湿) OH スケールについて	1.褥瘡予防について、観察・アセスメント・実践・評価できる 2.褥瘡管理について、創傷のアセスメントができる 体圧分散について(褥瘡後発部位・マット選択・ポジショニング) DESIGN スコアについて	1.褥瘡予防と褥瘡管理について実践・指導出来る DESIGN スコアによる局所管理(創傷被覆材など)	1.褥瘡対策委員会の活動を理解し支援できる		1.体圧分散マットレス・除圧用具について、使用方法がわかり準備できる。使用後のメンテナンスができる	
管理能力	成 果 責 任	1 組織機能を理解し、自覚ある行動とされる 2 社会人として視野を広げるための努力ができる 3 経済性を考えて看護用品・衛生材料を合理的に使用することができる 4 物流・薬品の管理システムを知ることができる 5 報告の必要性を理解し、適時に報告・連絡・相談ができる 新人看護師座談会 メンバーシップ研修 看護セミナー（フィッシュ哲学）	1 看護専門職としての誇りを持つことができる 2 医療・看護の動向に関心を持つことができる 3 業務が円滑に遂行できるように他メンバーと協力することができる 4 物品や環境について関心を持ち、安全性・合理性・経済性を考えて取り扱うことができる プリセプターシップ研修 プリセプターフォローアップ①② リーダーシップ研修 看護セミナー（フィッシュ哲学）	1 看護専門職としての誇りを持ち行動することができる 2 業務が円滑に遂行できるように調整することができる 3 医療チームの一員として他職種と協働することができる 4 院内の療養環境について関心を持ち、問題の解決に取り組むことができる リーダーシップ研修 中堅看護師交流会 看護セミナー（フィッシュ哲学）	1 看護専門職として後輩のモデルとなることができる 2 保健医療福祉の動向に関心を持ち、看護部・院内に働きかけることができる 3 管理的視野を持って所属部署内外での状況に目を向けることができる 中堅看護師交流会 看護セミナー（フィッシュ哲学）			
看護観 研究能力	成 果 責 任	卒後1年目：看護実践の中で印象に残った事例をもとに自己を振り返り看護師としての感性をたかめる。看護観について考える。事例をまとめ発表する。 卒後2年目：看護倫理を活用し根拠に基づいた看護過程が展開でき、看護観を深めることができる。	卒後3年目：臨床倫理を理解し、日常にある倫理的問題に気づき、倫理的問題からみた看護について自分の考え方見方を明らかにし、看護観を深めることが出来る。	自部署や委員会活動において解決したいと思っている問題（課題）を明確にし看護研究に取り組み院内・院外において発表できる。	自部署や委員会活動において解決したいと思っている問題（課題）を明確にし看護研究に取り組み院内・院外において発表できる。	看護体験から自己の看護観を明らかにする	患者サービスを向上させるための物品を考案・作成し展示する。	看護研究に関する実践、及び指導